

県立多治見病院 緩和ケアチーム通信



発行：県立多治見病院 緩和ケアチーム 2015年 3月号 VOL.48

文責：伊藤浩明 編集：櫻田亜矢子

第10回緩和ケア講演会の報告

～小牧市民病院における緩和ケアの活動を聴いて～

3月12日に第10回緩和ケア講演会を開催いたしました。今回は「意思決定に悩むがん患者・家族への支援」～診断期から終末期まで～というテーマで、小牧市民病院緩和ケア科医師 渡邊紘章先生にご講演いただきました。

がん患者は病状の変化に応じて次々と意思決定を求められるため、医療者は意思決定前の準備段階から決定後のフォローまで支援することが必要であること、また、人によって価値観は異なるため、患者と家族、医師と看護師でも多様な価値観があることを認めた上でコミュニケーションをとる必要があることを、多くのデータをもとにお話いただきました。その上で、小牧市民病院の緩和ケアセンターを支える3つの柱、すなわち、



『緩和ケア外来』『緩和ケアチーム』『緩和ケア病棟』の活動について、論文に提出したデータを示しながら説明していただきました。患者・家族と話し合いを促す取り組みとして、病院としては、アドバンスケアプランニングを、また市民啓発事業として『わた史ノート』を小牧市と一緒に取り組んでいる現状を教えてくださいました。小牧市民病院での活動を参考にし、当院でも活動を進めていく必要性を痛感いたしました。

第1回 緩和ケア勉強会

4月の勉強会予定

日時：平成27年4月16日(木) 18:00～19:30

場所：中央診療棟3階 講堂

内容：『小腸転移によりイレウス状態にあった肺がん患者の事例から学ぶ』
～医療者の予想を超えた余命により得られたその人らしい生活～

発表者：当院呼吸器内科医師・緩和ケア病棟看護師
浜田浅井医院訪問看護師・ケアマネジャー

ご参加お待ちしております☆



★平成27年度の緩和ケア勉強会は、偶数月の第3木曜日の開催となります。

★年間テーマは「症例に学ぶ ～多施設・多職種で関わる緩和ケア」です。

毎回事例を取り上げ、関わった施設、職種のいろんな立場からの発表を通じて「学び」が得られるような勉強会にしたいと思っています。ぜひご参加ください。